

令和 7 年度 第 7 回安城市教育委員会定例会会議録

日 時 令和 7 年 1 0 月 1 6 日（木）午後 3 時

場 所 教育センター 2 階 会議室

出席した委員 石川良一 教育長
加藤滋伸 教育長職務代理者
久恒美香 委 員
深津敦司 委 員
松林亜紗子 委 員

出席した職員 長谷部朋也 教育部長
加藤浩明 生涯学習部長
名倉建志 アジア競技大会推進監
久野晃広 総務課長
足立雅之 学校教育課長
大見徹也 生涯学習課長
松元淳一 スポーツ課長
杓名広紀 アンフォーレ課長
杉本慎吾 総務課庶務係長

傍 聴 者 須場康貴

開 会 午後 3 時

日 程

第 1 前回会議録の承認

令和 7 年 9 月 2 5 日開催の教育委員会定例会会議録

第 2 教育長等の報告

<教育長>

9 月 2 6 日 金 市議会閉会

2 7 日 土 安城東高等学校 5 0 周年記念コンサート

2 9 日 月 現職教育訪問（作野小）

3 0 日 火 みらいの風予算要望会

定例記者会見

附属岡崎三校教育懇談会

- 10月 1日 水 現職教育訪問（明和小）
3日 金 教育委員会委員辞令交付式
市民ギャラリー企画展「旅人のレンズ」観覧歴史のひろば展
観覧
7日 火 現職教育訪問（新田小）
8日 水 定例校長会
安城選手権大会総合開会式・安城市スポーツ表彰式
9日 木 安城西部小学校研究発表会
10日 金 現職教育訪問（錦町小）
11日 土 歴史のひろば展表彰式
14日 火 幹部会議
安城創正会予算要望会
15日 水 現職教育訪問（篠目中）
16日 木 教育委員会定例会

以上に出席しました。

第 3 議題

第21号議案 体育施設の臨時営業について

説明：スポーツ課長

内容：体育施設を近代五種アジア選手権大会のため臨時営業するにあたり、安城市体育施設の管理に関する規則第2条に基づき、必要があるため、承認を求める。

（全員異議なし承認）

第 4 承認事項

承認第1号 安城市奨学生審査委員会委員の解嘱及び委嘱について

説明：総務課長

内容：安城市奨学金支給条例施行規則第4条の規定に基づき、必要があるため、承認を求める。

（全員異議なし承認）

承認第2号 寄附受納について

説明：総務課長

内容：寄附受納に伴い、必要があるため、承認を求める。

久恒委員：52個のうち、24個は安城市に寄付していただけることになったということですが、安城市にたくさん寄付していただくことになった経緯は何かありますか。

総務課長：直接しっかり聞いていませんが、おそらく、安城市にシーホース三河の拠点になるアリーナがこれからできるということが大きな理由だと思います。

(全員異議なし承認)

第5 報告事項

報告第1号 令和7年9月議会報告について

報告第2号 新日本プロレスリング株式会社によるプロレスイベントの開催について

報告第3号 令和7年度第2回博物館協議会の開催結果について

報告第4号 令和7年度第2回安城市文化財保護委員会の開催結果について

報告第5号 令和7年度第2回安城市文化振興計画策定審議会の開催結果について

加藤職務代理：報告第1号の令和7年9月議会報告の中で、外国にルーツのある子どもたちの小中学校の総人数や全体の割合などの質問がありました。それ見てみますと、令和6年度は小中学校でそのような子どもたちが1,092人いて、令和7年度が少し増えて1,147人になっています。これからも少しずつ増えていくのか、その辺はわかりませんが、約1,000人の子どもたちが、安城市内の小中学校で学んでいる中で、それぞれ出身国が違いますので、各学校でご対応は大変だと思います。その中でも、日本語指導であるとか、あるいは、適応指導等で特に苦勞されていると思います。今度、行政視察で行く神奈川県横須賀市や横浜市はそういったことを昔からずっと対応していることもあるので、とても参考になると思います。

安城市で今、学校が困っていることはたくさんあるかと思いますが、教育委員会として特にこんな点に今後留意していきたいとか、そのようなことがあればお話をいただければと思います。

学校教育課長：いろいろな問題はあると思いますが、ブラジルやフィリピンについ

ては通訳も比較的充実してます。ただ、最近の流れとして、ブラジルやフィリピンだけでなく、イスラム圏、東南アジア、インドネシアやベトナムなどの子どもたちも来るようになってます。そこの通訳がいるかというとなかなか確保が難しいところです。

また、そのような子たちがまだ少数ですので、なかなか通訳をつけられない現状もあります。そのため、その辺りが今後課題になってくるかなと思います。特にイスラム圏については、学校もかなり苦勞しているところです。昼時になると礼拝がありますので、場所の確保や食事の面でも配慮が必要なことがあります。私が経験した中でいうと、修学旅行でハラル食が必要だからということで、引率職員がハラル食の場所を探して買いに行きました。そういったことも学校の先生方がやっているため、何とかサポートできないかなと、個人的な思いとして持っています。以上です。

加藤職務代理：はい、ありがとうございました。確かに言葉だけの指導ではなく、いろんな課題があると思います。しかし、1,000人というかなり多い数だと思いますので、出身の国や日本に来た理由はいろいろ違うかもしれませんが、この子たちも大事に育てていく必要がありますので、私どもで応援できることがあればまた言っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

また、お父さんもお母さんも母国語が違って、本人は日本に来てるので日本語と、3か国語になっているご家庭については、どのように対応しているのでしょうか。何かお聞きになっていることはありますか。

学校教育課長：どちらかの保護者の言語で通訳が見つければ、通訳を交えて話をしています。ただ、家庭の中で、子どもがどのように会話をしているのか、何語で会話してるのかということは、わからない部分も正直あります。おそらく、どちらかの言語で会話をしているだろうと思われますが、やはり日本語を忘れないよう、学校は粘り強くやっているところです。

加藤職務代理：そうですね。それぞれの各ご家庭で、そこで育つ子供たちも一生懸命に日本になじんで頑張っていると思いますので、これからもよろしくお願いいたします。

久恒委員：今の外国人のことも含めてなんですが、水泳指導について、今年度、高棚小学校と新田小学校の2校をモデル校として外部の方にやっていただいたということで、とてもありがたいなと思ってます。現在は、学校の水着もスクール水着ではなく、好きな格好でいいとは思いますが、外国の方だと、肌を見せてはい

けない宗教とかもあるのかなと思います。学校の水泳指導の中で、そういった水着について学校が困るようなことはありますか。

学校教育課長：今のところ教育委員会の方には、水着の指導で困ったということは聞こえてきていないです。ただ、今おっしゃられたように、今は各学校スクール水着ではなく、長袖のラッシュガードを着てもいいことになっています。また、水着についても自由ですので、可愛らしいひらひらの付いたものを着てくる小学生もいます。その辺は柔軟に学校の方で対応できていると思われます。

深津委員：今年はかなり暑かったと思いますが、実際に学校のプールはどのぐらい使えたのでしょうか。

学校教育課長：調査したときには7～8割は入っています。そのため、中止にしたということはあまり聞いていませんが、朝の時点で水温と気温を測り、基準をクリアしていれば入ります。ただし、天候によっては、基準を満たしててもあまりにも暑いと判断すれば、学校の方で判断して中止にしています。

深津委員：9月議会での質問の中で、調理場での食品残渣について、堆肥化を平成29年に廃止していると記載がありますが、現状はどうしているのでしょうか。

総務課長：現状は、廃棄物の業者であるオオブユニティ株式会社に、調理過程で出る残渣と給食後に戻ってくる残渣をまとめて食品廃棄物として収集してもらっています。大府の再資源化ということで、バイオマス発電で活用しているのがほとんどです。あとは家畜等の飼料化もしているということで、一応再資源化をしています。

深津委員：それはコストがかかる方ですか。それともいただく方ですか。

総務課長：コストはかかる方です。

第 6 その他

久恒委員：先ほど教育長の報告の中で、市民ギャラリーや歴史の広場のお話がありました。私はどちらも観覧し、科学の広場も見させていただきましたが、感想としては、以前よりもやらされている感じではなくて、どの子も楽しんでやっているなという印象を受けました。1回研究してまた次の年に同じ内容を深めている子や、3回やっている子などもいて、1回出してやっただけではなく、もっと追求したくなる、そんな内容のものがたくさんあって、大人の私でも知らないことだらけの歴史の広場でした。どの子も楽しく、どんどん追求していて、それを限られた紙の中にまとめることが大変だなと思うぐらい、小さい字ですごく書いていて本当に見ごたえのあるものでした。全部読むととても時間がかかるため、科

学の広場だとよくCD化したものがあったと思いますが、歴史の広場では、そういった後で読み物として読むような冊子やCD化されたものはあるのかなと思いました。そういったものは作っていますか。

生涯学習部長：ホームページに一部概要みたいなものを掲載していましたが、冊子やCD化したものはなかったため、以前にもそういったご意見をいただいたかと思います。そのため、今回、先ほど冒頭に教育長からもいろいろご提案をいただいております。科学の広場同様に、皆さんに見ていただけるよう、少なくとも各学校に1枚配布することを検討しております。また、全て文字起こしをして冊子にすることはなかなか難しいため、写真を撮って、気楽に見ていただけるような写真の冊子化を検討しております。今年度については、予算の関係もありますので、まずはCD化から始めて、皆様に見ていただけるような工夫を今後もしていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

久恒委員：ありがとうございます。もしそういうところにスペースがあるようでしたら、対象の子たちがスピーチした内容を少し入れてもらうとか、どういう気持ちでやったというのは最後の感想のところに皆さん書いていますが、そういった感想も少しだけでも入れていただけるとすごく伝わるかなと感じます。是非また検討してみてください。

生涯学習部長：1点補足させていただきたいと思います。今、久恒委員がおっしゃったようなことを検討して参りたいと思っております。また、教育長からもご提案いただいた内容ですが、例えば、子育て支援に関する安城市の歴史の変遷みたいなものを研究された子がいて、その子はやはりこども課に聞きに行っていました。そういったこともあって、各関係する課にもお声がけしまして、皆様に見ていただきたいと思っております。それを活かすことができるぐらいの内容だったということです。そういったことも含めて、本人のコメントなども載せていけたらなと思っております。よろしくお願いいたします。

久恒委員：今回の展示だけで終わらないで、例えば、市役所のどこかに子育て支援の変遷みたいな感じで掲示していただいて、一般の市民に見てもらおうとか、全員に対して同じ対応はできないと思いますが、安城市の動きなので、そういったものを一般の市民の人に見てもらえるように考えていくといいかなと思います。

昔、私の子が郵便局のことを調べた際に、郵便局に飾ってもらい、一般の市民の人がそういう風だったんだねっていうのをすごい感じてもらえたことがありました。安城市の子育て支援のことだったので、市民の方にも知ってもらえるよう

な、何かがあるといいなと思いました。

アジア競技大会推進監：資料がなく、まだポスターもできていないイベントですが、先ほどスポーツ課長の議題にもありました、近代5種のアジア選手権大会が、11月11日から16日まで安城市の総合運動公園であります。この大会は、来年開催されるアジア競技大会の予選会に位置づけられておりますので、各国からアジア競技大会に出るような選手が集まってくるので、本当に前哨戦と言える大会となります。11日から予選が始まりまして、13日と14日に準決勝があり、15日が決勝という形になっています。なかなか近代五種という競技自体の大会を見る機会は少ないと思います。日本でも数少ない大会が安城市でありますので、是非一度見に来ていただきたいです。また、来年のアジア競技大会は有料ですが、今年は無料ですので、自由に見ていただくことができます。

さらに、愛知県の支援をいただきまして、13日と14日の準決勝につきましては、バスを出していただき、小学校に募集をかけさせていただきました。残念ながら、全部の対応はできませんでしたが、3校の子どもたちがバスで来ていただけることになりました。近隣の小学校だけではなく、少し遠い小学校の子どもたちにも見ていただく機会を作ることができました。近隣の歩いて来ることができる小学校につきましては、また案内させていただいているので、多くの子どもたちに見ていただく予定です。

また、近代五種の中のオブスタクルという競技は、パリオリンピックまでは馬術競技が入っていたのが、SASUKEが世界に広がって、SASUKEからできた人間の障害物のレースです。これが子供にとっても人気で、土日につきましては、その競技の体験ができるオブスタクルボックスを用意させていただきます。是非、市内の子どもたちに観戦や体験をしていただけたらと思っています。11月の広報に載せておりますので、見ていただきたいです。この週は、是非、総合運動公園に足を運んでいただけたらと思います。

深津委員：冒頭に、教育長からいろんな学校に行かれているというお話があり、私も学校に行く機会がありますが、それぞれの学校の特徴がすごくあると思います。安城市は南北に長いので、北の方、真ん中、南の方とかなりいろんな特徴があって、それぞれ雰囲気がかなり違うと思います。私の行ってる学校は雰囲気が良く、例えば、おじいちゃんやおばあちゃんがよく来ています。これからコミュニティスクールも始まりますから、全校一律ではなく、それぞれの学校が、それぞれの特徴に合わせて何かしていくシステムがあるといいなと常々思います。

が、いかがでしょうか。

学校教育課長：今おっしゃられたことについては、校長も頭の中に描いております。地域の方や、もの、ことを使いながら、なんとか教材にして授業で取り入れようとしています。例えば、新田小学校に先日お邪魔させていただいたときには、南吉の下宿先があるものですから、南吉の下宿先を一つ取り上げ、地域の方と関わりながら、総合的な授業を学年で進めているという事例もあります。また、安城東部小学校も地域の方を活用しながら取り組んでいこうとか、そういう試みもしておりますので、各校で現在取り組んでいるかと思います。

深津委員：わかりました。やはり、学校の方でないとわからないことが多いと思いますので、教育委員会の方から下に下げるのではなくて、下から上げるようなことをやっていくのがいいかなと思います。

教育長：ありがとうございます。コミュニティスクールは、まさにそれを願って行っているところであります。地域の声を大事に拾っていきながら、我々が掘んだ地域の声を学校に情報共有している状況です。

深津委員：今の話に関連していますが、先ほど歴史の発表があったという話がありました。例えば、私の田舎の町でも昔からすごく面白い歴史の話がいくつかあります。学校の先生たちは他の地域から来る方も多いため、わからないことが多いと思います。その地域に長く住んでの方がよくわかっているので、それを掘り起こしていくことで、とても面白い話や歴史的な話がいっぱい出てくると思います。とてもいい教材になると思いますので、学校側ではなく、地域の方から声を出してくれるといいなと思いました。

教育長：私のところに集まってくる声は、お年寄りの方が多いので、例えば、明祥中学校の学区だとすると、飛行場の話が挙がってきます。いろんな場を使って、校長先生に話をしたりだとか、社会科の部会をまとめているような方に情報提供したりだとか、そのようなことをしながら進めていますので、よろしくお願いします。

総務課長：次回は11月20日(木)午後1時30分から教育センターで開催。

閉　　会　　　午後3時45分